

ARCHITECTURE
DESIGN
CONCOURS
2005

高校生建築デザイン コンクール

主催／北海道・(社)日本建築家協会北海道支部・(社)北海道建築設計事務所協会・(社)北海道建築士会
発行／北海道建設部建築整備室計画管理課
札幌市中央区北3条西6丁目
TEL011-231-4111 内線29-868
印刷／社会福祉法人 北海道リハビリー 平成17年12月発行

ARCHITECTURE
DESIGN
CONCOURS
2005

高校生建築デザイン コンクール

課題／第58回全国植樹祭の式典会場に建つお野立所

平成17年度



はじめに

公共建築物は、行政や教育・文化、医療・福祉、研究などさまざまな分野で、地域の産業や人々の生活に密接な係わりを持ち、地域の活性化や道民生活の向上、魅力あるまちづくりなどを推進する上で重要な役割を果たしています。

北海道では、道民に愛され親しまれる公共建築物づくりを進めていくため、平成8年度から「高校生建築デザインコンクール」を実施し、道内の工業高等学校（建築系学科）に在籍する生徒から夢のあるユニークなデザインを募集し、その提案を実施設計に取り入れ道民に親しまれる施設となるように建設を進めています。

さらに、平成12年度からは、コンクールの内容を一層充実するため、（社）日本建築家協会北海道支部、（社）北海道建築設計事務所協会、（社）北海道建築士会との共催事業としております。

将来建築を志す高校生の皆さんがコンクールに参加することで、公共建築物について考え、そして学んだ経験は、今後建築技術者として第一線で活躍される上で貴重な財産になるものと期待しております。

今回は、平成19年春季に本道で実施される「第58回全国植樹祭」において天皇皇后両陛下が式典を観覧される「お野立所」のデザインを課題として募集しましたところ、90点の応募がありました。

北海道におきましては、この度選定されました最優秀作品の設計主旨やデザインを、第58回全国植樹祭「お野立所」の設計等に反映し、道民に親しまれる公共建築物づくりに活かしてまいります。

終わりに、高校生建築デザインコンクールの実施にあたり、各高等学校をはじめ、関係機関の皆様には多大なご協力を賜り厚く御礼申し上げますとともに、ご応募いただいた高校生の皆さんの今後益々のご活躍を心からお祈り申し上げます。

平成17年12月

北海道建設部長 野村昌信

平成17年度

高校生建築デザインコンクールの概要

道民に愛され親しまれる公共建築物づくりを進めていくため、平成8年度から「高校生建築デザインコンクール」を実施しています。

このコンクールは、次世代を担う建築技術者となる道内の工業高等学校（建築系学科）に在籍する生徒から夢のあるユニークなアイデアを募集するものです。

最優秀作品に選ばれた作品の提案主旨は、北海道において、実施設計に取り入れ道民に親しまれる施設となるよう建設を進めています。

- 1 課題 「第58回全国植樹祭の式典会場に建つお野立所」
課題である「お野立所」は、第58回全国植樹祭のために整備を進めるものであり、全国植樹祭の記念式典において天皇皇后両陛下の観覧のお席となるなど、式典会場の核となる施設です。
全国植樹祭は、天皇皇后両陛下をはじめ、全国から多数の方々をお招きし、記念式典の開催や記念植樹を実施するなど、北海道らしい森林づくりの取り組みを全国に発信します。
- 2 応募資格 道内工業高等学校（建築系学科）に在籍する個人又は3名以下のグループ
- 3 提出図面 JIS規格A2判（420mm×594mm）1枚片面に下記の全ての図面を描く
① 設計主旨
② 配置図
③ 平面図：1/50
④ 断面図：1/50
⑤ 立面図：1/50
⑥ スケッチ
⑦ 建築概要
- 4 応募作品 90作品
- 5 入選作品 ・最優秀作品：1点 ・優秀作品：3点 ・佳作：4点
- 6 審査経過 募集要項配付 平成17年5月24日
作品受付 平成17年8月29日～平成17年9月9日
選定委員会 平成17年10月26日
作品展 平成18年1月10日～平成18年1月11日
- 7 選定委員 阿部勝義 北海道建設部建築整備室建築課長
穂積邦彦 北海道教育庁生涯学習部高校教育課長
吉田正明 北海道水産林務部全国植樹祭準備室参事
三栖博 （社）日本建築家協会北海道支部副支部長
西村武 （社）北海道建築設計事務所協会副会長
池田浩司 （社）北海道建築士会まちづくり委員会委員
- 8 審査のポイント
○ 高校生らしい若々しさと創造性にあふれているか。
○ 設計のコンセプトやデザインに魅力があるか。
○ 立地条件を生かしているか。
○ 実施設計に反映させ得るデザインであるか。



審査 講評

高校生建築デザインコンクールは、平成8年度から実施し、今回で第10回となりました。
工業高等学校（建築系学科）に在籍する建築を志す生徒の皆様から夢のあるアイデアを募集し、最優秀作品の主旨を実際の設計に活かして、道民から愛され親しまれる公共建築物づくりを進めるためのもので、多くの関係者に支えられて、高校生建築デザインコンクールを今年度も盛会に進めることができました。
選定委員会を代表して、関係各位に対しまして御礼を申し上げます。

今回の課題は「第58回全国植樹祭の式典会場に建つお野立所」のデザインで、平成19年度春季に苫小牧市で開催される植樹祭において、天皇后両陛下が記念式典をご観覧されるお席となる施設です。

例年の課題とは趣を異にした、難易度の高い課題ではありましたが、90点を数える応募があり、モニュメント性の高い作品、森や樹木に着目した作品、和風の佇まいや集成材に着目した作品等々、実に伸び伸びと素直で、建築を志す高校生の若々しく豊かな発想の作品が多かったと感じております。

審査にあたって

- ・高校生らしい若々しさと創造性にあふれているか。
- ・設計のコンセプトやデザインに魅力があるか。
- ・立地条件を生かしているか。
- ・実施設計に反映させ得るデザインであるか。

等について、審査を重ねた結果、最優秀作品1点、優秀作品3点、佳作4点を選定いたしました。

最優秀作品賞に選ばれた山田竜寛さんの作品は、わん曲したドーム状の屋根を交差させたプランですが、設計条件である集成材の特徴がよく見える形であり、シンプルな中にもまとまりのある優れたデザインであると評価されました。また、実現性が高いという点も評価のポイントになっております。

優秀作品賞には3名の方が選ばれております。

高橋和也さんの作品は、白鳥をイメージした装飾的な屋根が大変斬新であり、高校生らしさ、北海道らしさにあふれたユニークな作品であると評価されました。

山下瑞樹さんの作品は、シンプルであるが随所に工夫を凝らし、正面の太い梁が力強く、端正な佇まいが周囲の風景になじむデザインであると評価されました。

時田佑樹さんの作品は、木組みによって幾重にもめぐるされたファサードが「森のイメージ」という発想とコンセプトをわかりやすい形で表現しているところが評価されました。

佳作に選ばれた、加藤浩幸さん、小華和寛紀さん、若狭あさみさん、相澤佳那恵さんの4作品とも力作ぞろいであり、また惜しくも入賞されなかった作品の中にも、高校生らしい新鮮なアイデアに溢れる提案が数多くありましたことを申し添え、今回のご応募いただきました皆様の今後の活躍をご期待申し上げます。

平成17年度高校生建築デザインコンクール選定委員会委員長
北海道建設部建築整備室建築課長 阿部 勝義

平成17年度 高校生建築デザインコンクール入賞者一覧

最優秀作品賞（1点）

山田 竜寛 （北海道函館工業高等学校 2年）

優秀作品賞（3点）

高橋 和也 （北海道美唄工業高等学校 3年）

山下 瑞樹 （北海道苫小牧工業高等学校 3年）

時田 佑樹 （北海道札幌工業高等学校 3年）

佳 作（4点）

加藤 浩幸 （北海道札幌工業高等学校 3年）

小華和寛紀 （北海道苫小牧工業高等学校 3年）

若狭あさみ （北海道函館工業高等学校 3年）

相澤佳那恵 （北海道函館工業高等学校 3年）

入賞作品

最優秀
作品賞

函館工業高等学校
山田 竜寛 [2年]

憩の皇荘

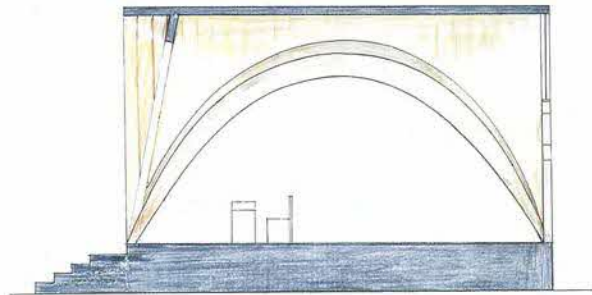
～自然と調和する建物～

北海道、この広大な大地の中で精一杯成長して行く大自然。そんな力強く優しさのある大自然を、柱を必要としない柔らかな曲面で表現しました。後方壁面には北海道の木「アカエゾマツ」を表現し、上半分は本物を使いより自然と溶け込むように、下半分は壁面をくり抜き優しい自然光を取り込めるようにしました。「憩の皇荘」でこれからは自然と仲良く付き合っていくことを再確認し、人々が集まってくれたらと思います。

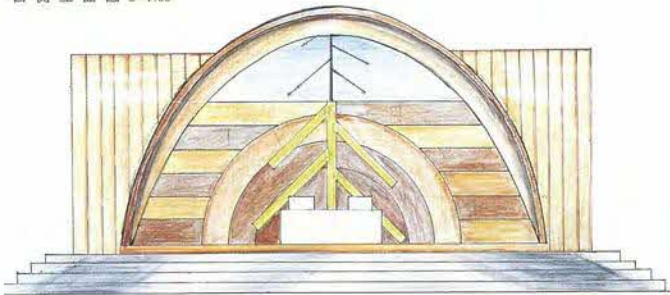


建築概要
構造・・・木造平家建
最高高さ・・・6m
敷地面積・・・2'0 1㎡
延床面積・・・81㎡

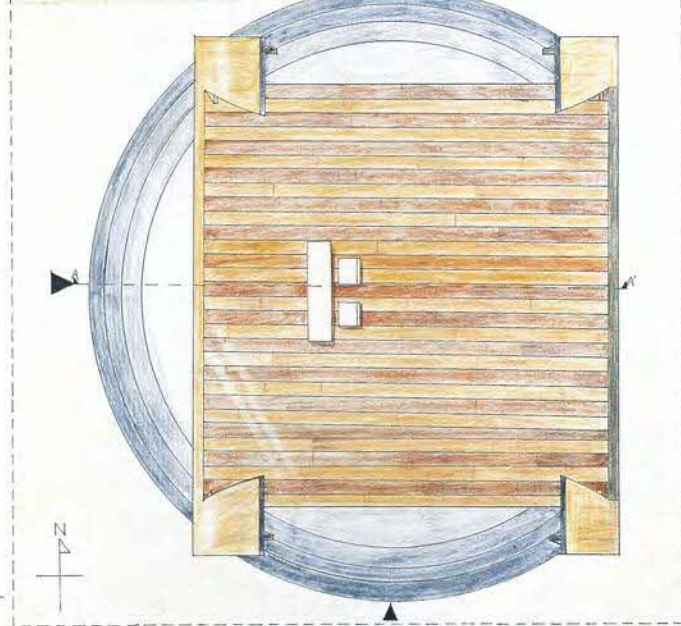
A~A' 断面図 S=1:50



西側立面図 S=1:50



配置図兼平面図 S=1:50



設計主旨

北海道、この広大な大地の中で精一杯成長して行く大自然。そんな力強く優しさのある大自然を、柱を必要としない柔らかな曲面で表現しました。後方壁面には北海道の木「アカエゾマツ」を表現し、上半分は本物を使いより自然と溶け込むように、下半分は壁面をくり抜き優しい自然光を取り込めるようにしました。「憩の皇荘」でこれからは自然と仲良く付き合っていくことを再確認し、人々が集まってくれたらと思います。

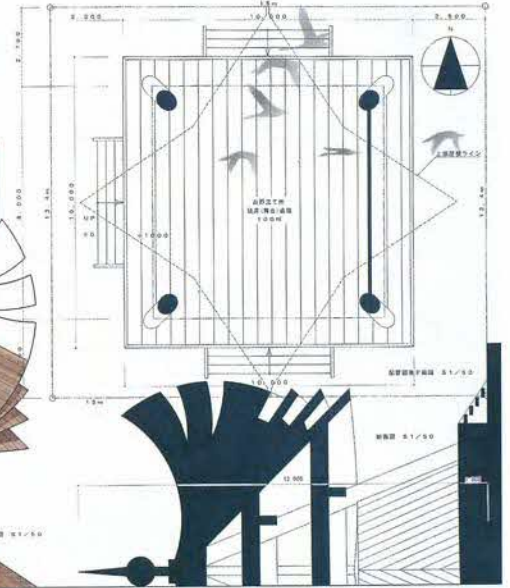
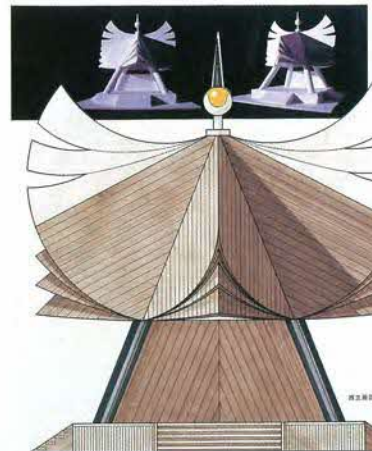
入賞作品

優秀作品賞

美唄工業高等学校
高橋 和也 [3年]

平成17年度 高校生建築デザインコンクール
「第58回全国植樹祭の式典会場に建つお野立所」

両翼を広げ、口ばしを高く突き刺し、優雅に空を舞う苫小牧市のシンボルである白鳥をイメージしました。今回のテーマである「明日へ・未来へ・北の大地の森づくり」を十分に考慮しており、植樹祭に相応しい「お野立所」のデザインであると思います。

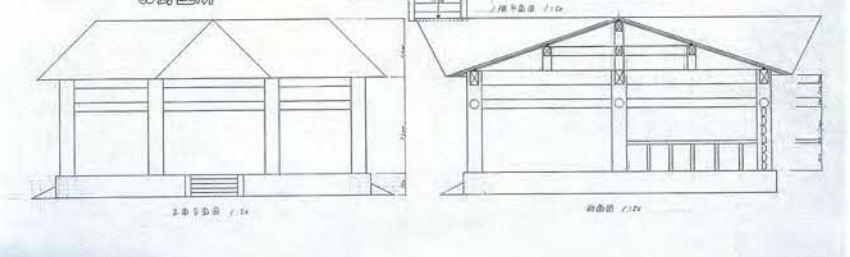
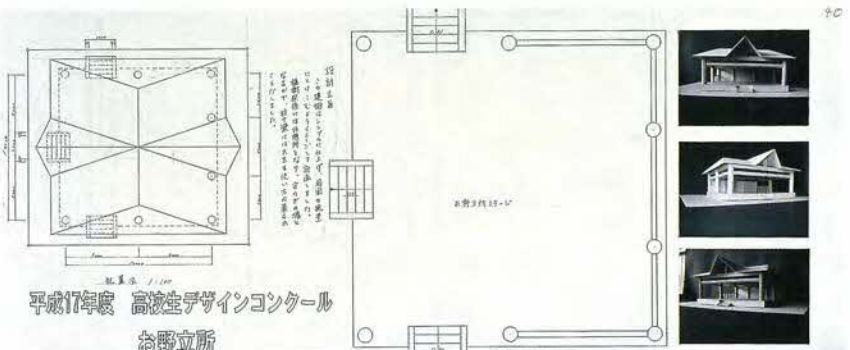


設計主旨

両翼を広げ、口ばしを高く突き刺し、優雅に空を舞う苫小牧市のシンボルである白鳥をイメージしました。今回のテーマである「明日へ・未来へ・北の大地の森づくり」を十分に考慮しており、植樹祭に相応しい「お野立所」のデザインであると思います。

優秀作品賞

苫小牧工業高等学校
山下 瑞樹 [3年]



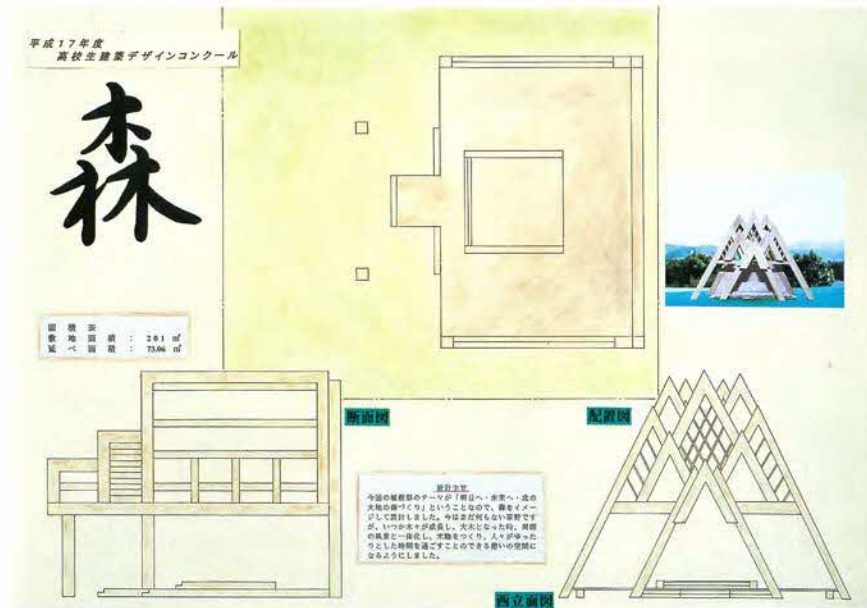
設計主旨

この建築物はシンプルに仕上げ、周囲の風景にとけこむようイメージして計画しました。植樹祭後には休憩所となり、安らぎの場となるので、柱や梁には丸太を使い木の柔らかさをだしました。

入賞作品

優秀作品賞

札幌工業高等学校
時田 佑樹 [3年]



設計主旨

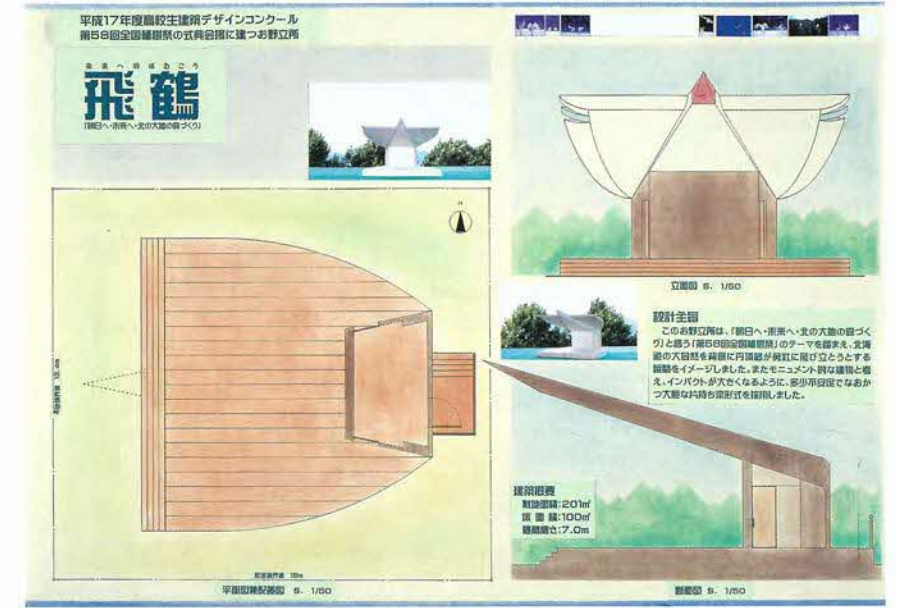
今回の植樹祭のテーマが「明日へ・未来へ・北の大地の森づくり」ということなので、森をイメージして設計しました。今はまだ何も無い原野ですが、いつか木々が成長し、大木となった時、周囲の風景と一体化し、木陰をつくり、人々がゆったりとした時間を過ごすことのできる憩いの空間になるようにしました。



入賞作品

佳作

札幌工業高等学校
加藤 浩幸 [3年]

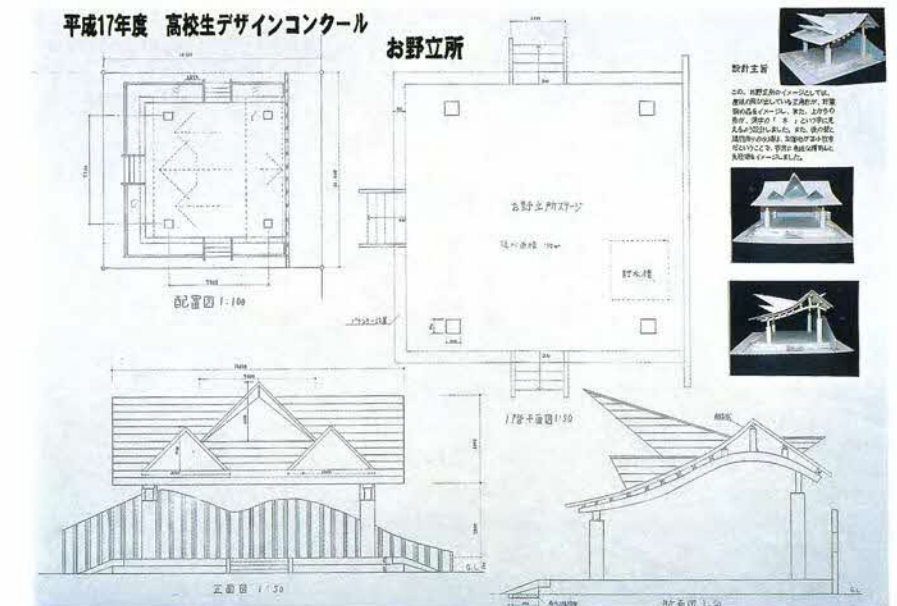


設計主旨

このお野立所は、「明日へ・未来へ・北の大地の森づくり」と言う「第58回全国植樹祭」のテーマを踏まえ、北海道の大自然を背景に丹頂鶴が勇壮に飛び立とうとする瞬間をイメージしました。また、モニュメント的な建物と考え、インパクトが大きくなるように、多少不安定でなおかつ大胆な片持ち梁形式を採用しました。

佳作

苫小牧工業高等学校
小華和寛紀 [3年]



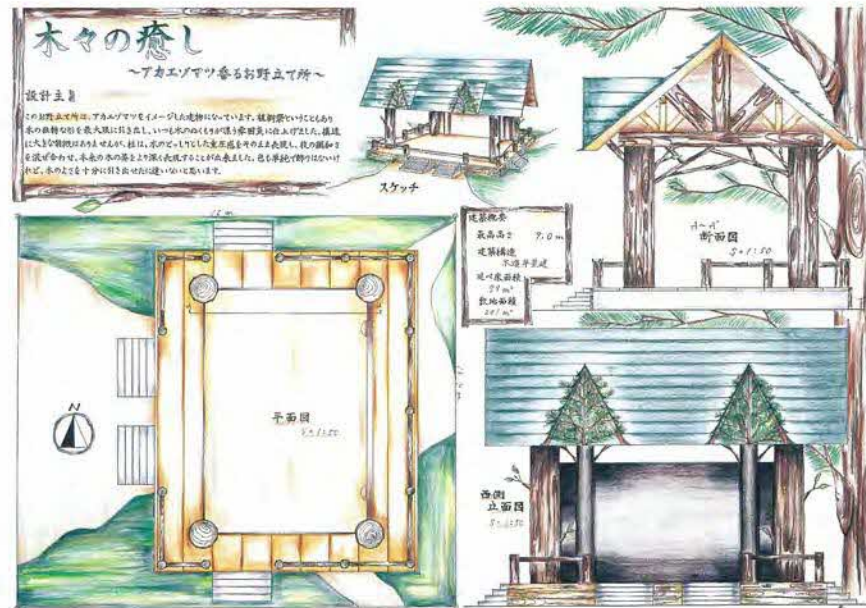
設計主旨

この、お野立所のイメージとしては、屋根の飛び出している三角形が、針葉樹の森をイメージし、また、上からの形が、漢字の「木」という字に見えるよう設計しました。また、後の壁と建物周りの水場は、主催地が苫小牧市だということで、市民に身近な樽前山と支笏湖をイメージしました。

入賞作品

佳作

函館工業高等学校
若狭あさみ [3年]

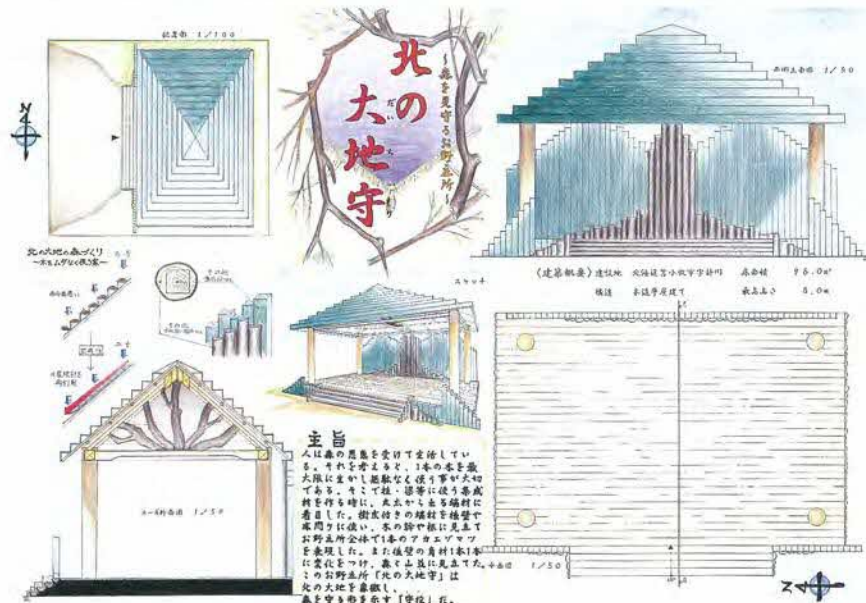


設計主旨

このお野立所は、アカエゾマツをイメージした建築物になっています。植樹祭ということもあり、木の独特な形を最大限に引き出し、いつも木のぬくもりが漂う雰囲気仕上げてみました。構造に大きな特徴はありませんが、柱は、木のどっしりとした重圧感をそのまま表現し、枝の繊細さを混ぜ合わせ、本来の木の姿をより深く表現することが出来ました。色も単純で飾りはないけれど、木のよさを十分に引き出せたとはいえないと思います。

佳作

函館工業高等学校
相澤佳那恵 [3年]



設計主旨

人は森の恩恵を受けて生活している。それを考えると、1本の木を最大限に生かし無駄なく使う事が大切である。そこで柱・梁等に使う集成材を作る時に、丸太から出る端材に着目した。樹皮付きの端材を後壁や床周りに使い、木の幹や根に見立てお野立所全体で1本のアカエゾマツを表現した。また後壁の角材1本1本に変化をつけ、森と山並に見立てた。このお野立所「北の大地の守り」は北の大地を象徴し森を守る形を示す「守役」だ。

平成17年度高校生建築デザインコンクール応募者名簿

札幌工業高等学校

- 加藤 浩幸 [3年]
- 打田 知大 [3年]
- 北野 潔 [2年]
- 三宅 龍生 [2年]
- 平野 友輝 [2年]
- 3名グループ
- 高崎 誠 [2年]
- 前田 和也 [2年]
- 中村 公男 [2年]
- 3名グループ
- 太田 和彦 [2年]
- 渡邊 祐也 [2年]
- 高橋 岳矢 [2年]
- 3名グループ

- 渡部 寛尉 [3年]
- 松本 健路 [3年]
- 内藤 遼 [3年]
- 片倉早百合 [3年]
- 坂井 直樹 [3年]
- 川瀬璃以子 [3年]
- 佐々木 将 [2年]
- 田村 優樹 [2年]
- 柴田 祐也 [2年]
- 3名グループ
- 時田 佑樹 [3年]
- 葛西 正隆 [3年]
- 小林 慎也 [3年]
- 木明 真悟 [3年]
- 川村 将大 [3年]
- 田伏 洸 [3年]
- 高木 花純 [3年]

小樽工業高等学校

- 清川 亜澄 [3年]
- 南場 武蔵 [3年]
- 山田 光佑 [3年]

美唄工業高等学校

- 高橋 和也 [3年]

旭川工業高等学校

- 松崎 雄二 [3年]
- 田中 良信 [3年]
- 2名グループ

帯広工業高等学校

- 木下 真 [3年]

室蘭工業高等学校

- 畑澤 恵 [3年]

苫小牧工業高等学校

- 青山 翔子 [3年]
- 新井 雄太 [3年]
- 市原 昌和 [3年]
- 大垣さなえ [3年]
- 大槻 雄太 [3年]
- 小野 弘貴 [3年]
- 小華和寛紀 [3年]
- 小林 孝至 [3年]
- 小林 雄仁 [3年]
- 鈴木 峻 [3年]
- 清宮 章太 [3年]
- 竹内 貴 [3年]
- 竹田 博喜 [3年]
- 土坂 実 [3年]
- 寺島 千博 [3年]
- 中村 弘之 [3年]
- 永谷 飛貴 [3年]
- 西村 勇也 [3年]
- 能登 亮 [3年]
- 原 侑未 [3年]
- 伴 一之 [3年]
- 藤澤 亮輔 [3年]
- 松村 翔平 [3年]
- 矢尻 勇太 [3年]
- 柳谷 祐助 [3年]
- 山内 優 [3年]
- 山下 瑞樹 [3年]

北見工業高等学校

- 黒川 実希 [3年]
- 中山 奈採 [3年]
- 2名グループ
- 檀山 翔 [3年]
- 水野 輝信 [3年]
- 松本 薫哉 [3年]
- 3名グループ

計90作品 (102名)

高校別作品応募数一覧

学校名	平成17年度
札幌工業高等学校	19
函館工業高等学校	35
小樽工業高等学校	3
美唄工業高等学校	1
旭川工業高等学校	1
帯広工業高等学校	1
室蘭工業高等学校	1
苫小牧工業高等学校	27
北見工業高等学校	2
計	90